

御殿場方言かるた大会 ルール

令和8年9月4日
御殿場方言かるた実行委員会

大会の趣旨

この大会は、「御殿場方言かるた」で遊ぶことを通じて、失われつつある当地の方言を知り、歴史や文化を学び、次世代に伝えることを目的に開催します。

勝ち負けに執着せず、楽しみながら一緒に遊ぶことが一番大事です。審判が悩むことが極力起こらないように、是非「ゆずりあい」の精神で競技してください。

●種目

- ・1チーム3～5人一組の団体戦のみとし、各チームが異なる相手と2回対戦して総合得点を競う。

●競技に用いる札

- ・「御殿場方言かるた」読み札、絵札それぞれ46枚

当日スムーズな進行のため、選手は、事前にルール確認をしてください。

マナーを守って楽しくかるたをしましょう。

待機時のイメージ



待機時の姿勢は立位、座位のどちらでもOK！

●競技進行

- ①コートを含んで3人（1チーム）が一列になり向かい合う。
- ②審判が絵札を切り、2つの山に分ける。両チームのリーダーがじゃんけんし、勝った方のチームから先に絵札の山を選び、残った山をじゃんけんに負けたチームが取る。
- ③両チームは絵札を自分のチームの陣地に並べる。上段に12枚、下段に11枚並べるものとし、絵札の上端を横の中央線に向ける。
- ④読み手が読み札を2回読み上げる。絵札を取る際の注意事項やルールは、
●試合上の注意、●お手付きのルール を参照。
- ⑤コート内の絵札が残り2枚となったら一旦審判が預かり、両チームの陣地に絵札を1枚ずつ置く。読み手が札を読んだら、自分の陣地の札をそれぞれ取る。
※最後の2枚は取り合いをせず、両チームが1枚ずつ取る。
- ⑥競技が終わったら、自分のチームが獲得した絵札をまとめ、審判長の掛け声に合わせて自分のチームの陣地に1枚ずつ絵札を置く。数え終えたら両チームのリーダーは獲得した絵札の枚数を審判へ報告する。審判は結果を「得点記録用紙」に記入し、記録係に報告する。

●コートの配置

- ・テーブルに札を並べて、選手は椅子に座った状態、又は、立った状態で行う。

●得点の数え方

- ・取り札を1枚1点とする。

●勝敗の決め方

- ・総合得点の点数の多い方が勝者とする。
- ・総合得点が高点の場合は、同点となったチーム内から代表者3名を選出し、じゃんけんによる決定戦を行い、順位を確定させる。

●選手の出場・入れ替えについて

- ・代表者3名が選手として試合に出場する。
- ・試合中、諸用での途中退出した場合、残りの選手は欠員が出た状態で試合を続行する。また、途中出場や選手の入れ替えは認めないものとする。
- ・補欠の選手がいないチームに欠員が出た場合、欠員の状態で試合を行う。

●お手付きのルール（ペナルティ有）

- ①正しい絵札以外の絵札に手を触れたら全て「おてつき」とし、獲得した絵札の中から1枚を相手チームに渡す。ただし、まだ獲得した絵札が無い場合には渡す必要はない。
- ②両チームが「おてつき」をした場合、両チームは①のルールがそれぞれ適用となるため、獲得した絵札の中から1枚を相手チームに渡す。ただし、まだ獲得した絵札が無い場合には渡す必要はない。
- ③味方のチームの2人もしくは3人が同時に「おてつき」をした場合でも、相手に渡す絵札は1枚とする。
- ④絵札に触れていいのは1度だけ。「おてつき」をした人が、その後に正しい絵札に触れた場合は「無効」とし、正しい絵札は相手チームに渡す。また、「おてつき」の分の絵札を相手チームに1枚渡す。
- ⑤正しい絵札を取るために隣り合った絵札に偶然触れてしまった場合は「おてつき」としない。

●試合上の注意

①読み手が読み札を読み始めるまでの姿勢

選手は手をコート外のライン上に置き、体全体をコート内に入れないこと。
立位（立っている状態）または座位（座っている状態）のいずれかの状態で待機する。

②絵札の取り方

・片手で札を取る

絵札を取るときは、両手を使ったり、札にかぶさってはいけない。また、札は飛ばしたり引っ張ったりせずに、片手を札の上に置く。絵札の上に置いた手は、審判の合図があるまでそのままにする。

・横払い禁止

横払い（札を飛ばして取ること）は禁止である。万が一、選手が横払いをした場合は以下のとおりとする。

【正しい絵札の場合】 正しい絵札は相手チームが獲得する。

【正しくない絵札の場合】 「おてつき」と同様の扱いとする。

・手が重なった場合

絵札を取る際に両チームの選手の手が重なった時は、手が下の選手が属するチームが絵札を獲得する。

・同時に札をふれた場合

絵札に両チームの選手が同時にふれた時は、絵札が置かれた陣地側のチームが獲得する。

※同時の場合は双方がゆずりあいの精神で解決するものとするが、どうしても決まらないときは審判に判断を求める。

③絵札の配置変え禁止

試合中、最初に並べた絵札の位置を故意に変えてはいけない。絵札が動いてしまった時は、審判の指示により、自分の陣地の絵札を元の位置に戻す。審判の指示無く絵札に触れてしまった場合は、注意となる。